



大阪部会(第8回)

日 時: 2008年7月19日(土)18:00~20:00

場 所: 同志社大学 大阪サテライト

【内容要旨】

- (1) 第8回目の部会は14名の参加者で開催された。まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表者から、大阪部会で河原和之氏と李洪俊氏が報告された教材の活用方法についての相談があった。取り敢えず、今秋から河原和之氏が担当される中学校での授業と並行して、教材をwebに立ち上げる方向で進めることになった。現場の先生がたがそれぞれ独自の教材作りをする際の参考になればということである。
- (2) 引き続き、篠原総一氏からいくつかの報告があった。
 - ①安田行宏氏(東京経済大学経営学部)の「高校生から読める大学の授業」の紹介があり、執筆の意図や内容について近日中に東京部会で話していただくように折衝する。
 - ②八戸ワークショップ(08年6月28日)と東京シンポジウム(08年7月5日)についての報告。
 - ③8月に大阪と東京で二日間にわたって実施される高等学校の先生を対象にした研修会についての報告。両会場ともすでに定員に近い申し込みがある。
 - ④経済教育ネットワークの年次大会(08年9月6日)におけるプログラム(案)の紹介。
- (3) 「経済問題の見解比較(宮尾尊弘氏による修正版)」の資料に基づいて意見交換が行なわれた。まず、いくつかの質問事項をアレンジすれば、中学校や高等学校の教材としても利用できる。特に、税金に関する質問事項にその可能性が高い。また、質問への記入に際しては、回収率を上げるためには無記名での回答が欠かせない。さらに、「同意」「不同意」の二者択一の回答だけでなく、「分からない」の項目を追加するほうがよいという意見もでた。

(文責:西村理)